

国語

(古典探究)

発 番 号	行 名	者 称略 称	教科書の記号・番号	判型	ページ数	検定済年
2	東京書籍	東書	古探 002-901	A 5	342	令和 8 年
2	東京書籍	東書	古探 002-902	A 5	502	令和 8 年
2	東京書籍	東書	古探 002-903	A 5	342	令和 8 年
2	東京書籍	東書	古探 002-904	A 5	214	令和 8 年
15	三省堂	三省堂	古探 015-901	A 5	314	令和 8 年
15	三省堂	三省堂	古探 015-902	A 5	218	令和 8 年
50	大修館書店	大修館	古探 050-901	A 5	342	令和 8 年
50	大修館書店	大修館	古探 050-902	A 5	220	令和 8 年
50	大修館書店	大修館	古探 050-903	A 5	498	令和 8 年
104	数研出版	数研	古探 104-901 ◆	A 5	326	令和 8 年
104	数研出版	数研	古探 104-902 ◆	A 5	198	令和 8 年
104	数研出版	数研	古探 104-903 ◆	A 5	518	令和 8 年
109	文英堂	文英堂	古探 712	A 5	485	令和 4 年
117	明治書院	明治	古探 117-901 ◆	A 5	304	令和 8 年
117	明治書院	明治	古探 117-902 ◆	A 5	230	令和 8 年
143	筑摩書房	筑摩	古探 143-901	A 5	320	令和 8 年
143	筑摩書房	筑摩	古探 143-902	A 5	192	令和 8 年
183	第一学習社	第一	古探 183-901	A 5	334	令和 8 年
183	第一学習社	第一	古探 183-902	A 5	190	令和 8 年
183	第一学習社	第一	古探 183-903	A 5	454	令和 8 年
183	第一学習社	第一	古探 183-904	A 5	326	令和 8 年
183	第一学習社	第一	古探 720	A 5	256	令和 4 年
212	桐原書店	桐原	古探 212-901 ◆	A 5	326	令和 8 年
212	桐原書店	桐原	古探 212-902 ◆	A 5	204	令和 8 年

※「教科書の記号・番号」欄にある◆は、「学習者用デジタル教科書」（学校教育法第34条第2項に規定する教材）の発行予定があることを示す。

1 調査の対象となる教科書の冊数と発行者及び教科書の番号

古典探究		冊数	24冊
発行者の略称・ 教科書の番号	東書002-901 東書002-902 東書002-903 東書002-904 三省堂015-901 三省堂015-902 大修館050-901 大修館050-902 大修館050-903 数研104-901 数研104-902 数研104-903 文英堂712 明治117-901 明治117-902 筑摩143-901 筑摩143-902 第一183-901 第一183-902 第一183-903 第一183-904 第一720 桐原212-901 桐原212-902		

2 学習指導要領における教科・科目の目標等

【国語の目標】

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。
- (2) 生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばす。
- (3) 言葉のもつ価値への認識を深めるとともに、言語感覚を磨き、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、生涯にわたり国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

【古典探究の目標】

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めることができるようにする。
- (2) 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、古典などを通じた先人のものの見方、感じ方、考え方との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。
- (3) 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって古典に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

【古典探究の内容及び内容の取扱い】

「内容」の概要	「内容の取扱い」抜粋
<p>[知識及び技能]</p> <p>(1) 言葉の特徴や使い方に関する事項</p> <p>(2) 我が国の言語文化に関する事項</p> <p>[思考力、判断力、表現力等]</p> <p>A 読むこと</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 構造と内容の把握 ○ 精査・解釈 ○ 考えの形成、共有 	<p>(1) [知識及び技能]に関する指導については、次の事項に配慮するものとする。</p> <p>古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めることについては、「A読むこと」の指導に即して行い、必要に応じてある程度まとまった学習もできるようにすること。</p> <p>(2) 「A読むこと」に関する指導については、次の事項に配慮するものとする。</p> <p>ア 古文及び漢文の両方を取り上げるものとし、一方に偏らないようにすること。</p> <p>イ 古典を読み深めるため、音読、朗読、暗唱などを取り入れること。</p> <p>ウ 必要に応じて、古典の変遷を扱うこと。</p> <p>(3) 教材については、次の事項に留意するものとする。</p> <p>ア 「A読むこと」の教材は、古典としての古文及び漢文とし、日本漢文を含めるとともに、論理的に考える力を伸ばすよう、古典における論理的な文章を取り上げること。また、必要に応じて、近代以降の文語文や漢詩文、古典についての評論文などを用いることができること。</p> <p>イ 「A読むこと」の言語活動が十分行われるよう教材を選定すること。</p> <p>ウ 教材は、言語文化の変遷について理解を深める学習に資するよう、文章の種類、長短や難易などに配慮して適当な部分を取り上げること。</p>

3 教科書の調査研究

(1) 内容

ア 調査研究の総括表

調 査 項 目	対象の根拠(目標等との関連)
a 単元など内容や時間のまとまりを通して、その中で育む資質・能力の育成	学習指導要領第2章 第1節 第3款1(1)
b 読書に関する指導	学習指導要領第2章 第1節 第2款 第6、2(2)エ
その他の項目(各教科共通)	学習指導要領総則、東京都教育委員会の基本方針、東京都教育ビジョン

イ 調査項目の具体的な内容

① 調査項目の具体的な内容の対象とした事項

調査研究事項の a、b 及びその他の項目との関連で、次の事項について具体的に調査研究する。

a 単元など内容や時間のまとまりを見通して、その中で育む資質・能力の育成（各教科共通）

- ・ 各単元において、どのような資質・能力を育成できるか見取る。

b 読書に関する指導

- ・ 読書に関する指導についてどのように扱っているかを見取る。

《その他の項目》(各教科共通)

- ・ 我が国の伝統や文化、国土や歴史に対する理解、他国の多様な文化の尊重に関する特徴や工夫
- ・ 人権課題（同和問題、北朝鮮による拉致問題等）に関する特徴や工夫
- ・ 安全・防災や自然災害の扱い
- ・ オリンピック・パラリンピックに関する特徴や工夫
- ・ 固定的な性別役割分担意識に関する記述等

② 調査対象事項を設定した理由等

a 単元など内容や時間のまとまりを見通して、その中で育む資質・能力の育成(各教科共通)

- ・ 学習指導要領の第3款の中で「単元など内容や時間のまとまりを見通して、その中で育む資質・能力の育成に向けて」と言及されているので、古典探究では、各単元(各文章)における「知識及び技能」「読むこと」の指導の場面がどのように設定されているかという視点で質的な調査をする。

b 読書に関する指導

- ・ 学習指導要領では、「先人のものの見方、感じ方、考え方に親しみ、自分のものの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深めること」を身に付けることができるよう指導するとされている。このことから、古典の読書に関する指導の場面がどのように設定されているかという視点で質的な調査をする。

《その他の項目》(各教科共通)

- ・ 我が国の領域をめぐる問題及び国旗・国歌の取扱いについては、学習指導要領総則に基づき、これらの問題を正しく理解できるようにするため、その扱いについて調査する。
- ・ 北朝鮮による拉致問題については、東京都教育委員会の基本方針1に基づき、人権尊重の理念を正しく理解できるようにするため、その扱いについて調査する。
- ・ 東京都では、自然災害時における被害を最小化し、首都機能の迅速な復旧を図る総合的なリスクマネジメント方策の確立が喫緊の課題であり、防災教育の普及等により地域の防災力の向上が重要であることから、防災や自然災害の扱いについて調査する。
- ・ 東京都教育委員会の基本方針2・3に基づき、文化・スポーツに親しみ、国際社会に貢献できる日本人を育成するという観点から、オリンピック・パラリンピックの扱いについて調査する。
- ・ 東京都教育委員会の基本方針1及び東京都の男女平等参画推進の施策を踏まえ、固定的な性別役割分担意識の解消や、「無意識の思い込み(アンコンシャス・バイアス)」に気付いて言動等を見直していくなど、男女の平等を重んずる態度を養うことができるよう、その扱いについて調査する。

(2) 構成上の工夫(各教科共通)

- ・ デジタルコンテンツの扱い
- ・ ユニバーサルデザインの視点
- ・ 自立した学習者の育成に資する工夫

教科名	国語
科目名	古典探究

発行者（略称）	東書
教科書番号	古探002-901
教科書名	新編古典探究

(1) 内容

a 単元など内容や時間のまとまりを見通して、その中で育む資質・能力の育成（各教科共通）	
【言葉の特徴や使い方に関する事項】	<ul style="list-style-type: none"> ・「言葉の変遷を調べる」という言語活動が設けられ、時代の推移や社会の変化による言葉の変化について理解が深められるよう工夫されている。 ・漢文編に「故事と小話」という単元が設けられ、故事成語について理解を深められるよう工夫されている。
【読むこと】	<ul style="list-style-type: none"> ・古文では説話、随筆、作り物語、和歌、日記、軍記物語、歌物語、歴史物語、歌論、俳諧などが、漢文では思想、史伝、古体詩、近体詩などが取り上げられ、文章の種類を踏まえて、構成や展開、内容を的確に捉えたり、解釈したりできるよう教材が設定されている。 ・「古文の窓」「漢文の窓」というコラムが掲載され、古典の作品や文章を多面的・多角的な視点から読み深めることができるよう工夫されている。 ・「参考」として、単元の教材と関連する他の作品が掲載されている。 ・「言語活動」が設けられ、学習したことを基に調べ学習をしたり、表現活動をしたり、関連する他の作品と読み比べたりすることができるよう工夫されている。 ・教材末や単元末に「学習の手引き」や「言語活動」が設けられ、教材の種類や内容に応じて読みを深められるよう工夫されている。
b 読書に関する指導	
	<ul style="list-style-type: none"> ・「読書案内」が設けられ、掲載されている作品やジャンル等に関連する書籍、古典に関連する書籍などが紹介されている。
《その他の項目》（各教科共通）	
我が国の伝統や文化、国土や歴史に対する理解、他国の多様な文化の尊重に関する特徴や工夫	<ul style="list-style-type: none"> ・古典などを読むことを通して、我が国の文化の特質や、我が国の文化と中国など外国の文化との関係について理解を深められるよう教材が設定されている。 ・「漢文の窓」として、漢文と古典落語に関するコラムが掲載されている。 ・巻頭及び巻末に古典の世界の人々の生活に関する理解を促す図版が掲載されている。
人権課題（同和問題、北朝鮮による拉致問題等）に関する特徴や工夫	記載なし
安全・防災や自然災害の扱い	記載なし
オリンピック・パラリンピックに関する特徴や工夫	記載なし
固定的な性別役割分担意識に関する記述等	<ul style="list-style-type: none"> ・「土佐日記」に、「男もすなる日記といふものを、女もしてみむとて、するなり。」という記述が見られる。

(2) 構成上の工夫

デジタルコンテンツの扱い	<ul style="list-style-type: none"> ・「竹取物語」「源氏物語」「唐詩」「項羽と劉邦」「詩」について作品紹介の動画や、品詞分類表に、二次元コードを読み込んでアクセスできるように工夫がされている。
ユニバーサルデザインの視点	<ul style="list-style-type: none"> ・全ての生徒の色覚特性に適應するようにデザインされている。
自立した学習者の育成に資する工夫	<ul style="list-style-type: none"> ・巻頭に「この教科書で学習するために」、巻末に「この教科書で学ぶこと」が示され、学習者自身が身に付けるべき力や学習目標、学び方を理解できるよう工夫がされている。

教科名	国語
科目名	古典探究

発行者（略称）	東書
教科書番号	古探002-902
教科書名	精選古典探究 新版

(1) 内容

a 単元など内容や時間のまとまりを見通して、その中で育む資質・能力の育成（各教科共通）	
【言葉の特徴や使い方に関する事項】	<ul style="list-style-type: none"> ・「言葉の変遷を調べる」という言語活動が設けられ、時代の推移や社会の変化による言葉の変化について理解が深められるよう工夫されている。 ・教材末に「学習の手引き」「語句と表現」が設けられ、古典に用いられている語句の意味や用法、文語のきまり、表現の技法などについての理解を深められるよう工夫されている。
【読むこと】	<ul style="list-style-type: none"> ・古文では説話、歌物語、随筆、軍記物語、日記、作り物語、歴史物語、和歌、歌論、俳諧などが、漢文では思想、史伝、古体詩、近体詩などが取り上げられ、文章の種類を踏まえて、構成や展開、内容を的確に捉えたり、解釈したりできるよう教材が設定されている。 ・「古文の窓」というコラムが掲載され、古典の作品や文章を多面的・多角的な視点から読み深めることができるよう工夫されている。 ・「参考」として、単元の教材と関連する他の作品が掲載されている。 ・「言語活動」が設けられ、学習したことを基に調べ学習をしたり、表現活動をしたり、関連する他の作品と読み比べたりすることができるよう工夫されている。 ・教材末や単元末に「学習の手引き」や「言語活動」が設けられ、教材の種類や内容に応じて読みを深められるよう工夫されている。

b 読書に関する指導	
	<ul style="list-style-type: none"> ・「言語活動」の中に「本の帯を作ろう」という活動が設定されている。

《その他の項目》（各教科共通）	
我が国の伝統や文化、国土や歴史に対する理解、他国の多様な文化の尊重に関する特徴や工夫	<ul style="list-style-type: none"> ・古典などを読むことを通して、我が国の文化の特質や、我が国の文化と中国など外国の文化との関係について理解を深められるよう教材が設定されている。 ・「古文の窓」として、中国小説の翻案に関するコラムが掲載されている。 ・巻末に古典の世界の人々の生活に関する理解を促す図版が掲載されている。
人権課題（同和問題、北朝鮮による拉致問題等）に関する特徴や工夫	記載なし
安全・防災や自然災害の扱い	<ul style="list-style-type: none"> ・「方丈記」の「安元の大火」が掲載されている。
オリンピック・パラリンピックに関する特徴や工夫	記載なし
固定的な性別役割分担意識に関する記述等	<ul style="list-style-type: none"> ・「枕草子」の「すさまじきもの」に「博士のうち続き女児生ませたる。」という記述が見られる。 ・「平安時代の後宮一定子をめぐる人々」で「女房は、中流貴族出身者が多かったようで、女性は家庭に入るのが一般的だった当時であつては、数少ない就職先であった。」という記述が見られる。 ・「和歌というメディア」という文章で、本文に「また、同じく『枕草子』で女性教育に必要なものとして挙げられているのは、字を美しく書けること、琴を上手に弾けること、『古今和歌集』の全ての歌を覚えること、という三つである。」という記述が見られる。

(2) 構成上の工夫

デジタルコンテンツの扱い	<ul style="list-style-type: none"> ・古典作品を紹介する映像資料や、シミュレーション形式の活用表に、二次元コードを読み込んでアクセスできるよう工夫されている。
ユニバーサルデザインの視点	<ul style="list-style-type: none"> ・全ての生徒の色覚特性に適應するようにデザインされている。
自立した学習者の育成に資する工夫	<ul style="list-style-type: none"> ・巻頭に「この教科書で学習するために」、巻末に「この教科書で学ぶこと」が示され、学習者自身が身に付けるべき力や学習目標、学び方を理解できるよう工夫されている。

教科名	国語
科目名	古典探究

発行者（略称）	東書
教科書番号	古探002-903
教科書名	精選古典探究 古文編

(1) 内容

a 単元など内容や時間のまとまりを見通して、その中で育む資質・能力の育成（各教科共通）	
【言葉の特徴や使い方に関する事項】	<ul style="list-style-type: none"> ・「言葉の変遷を調べる」という言語活動が設けられ、時代の推移や社会の変化による言葉の変化について理解が深められるよう工夫されている。 ・教材末に「学習の手引き」「語句と表現」が設けられ、古典に用いられている語句の意味や用法、文語のきまり、表現の技法などについての理解を深められるよう工夫されている。
【読むこと】	<ul style="list-style-type: none"> ・説話、歌物語、随筆、軍記物語、日記、作り物語、歴史物語、和歌、歌論、俳諧などが取り上げられ、文章の種類を踏まえて、構成や展開、内容を的確に捉えたり、解釈したりできるような教材が設定されている。 ・「古文の窓」というコラムが掲載され、古典の作品や文章を多面的・多角的な視点から読み深めることができるよう工夫されている。 ・「参考」として、単元の教材と関連する他の作品が掲載されている。 ・「言語活動」が設けられ、学習したことを基に調べ学習をしたり、表現活動をしたり、関連する他の作品と読み比べたりすることができるよう工夫されている。 ・教材末や単元末に「学習の手引き」や「言語活動」が設けられ、教材の種類や内容に応じて読みを深められるよう工夫されている。

b 読書に関する指導	
	<ul style="list-style-type: none"> ・「北辺随筆」の「読書の心得」という文章が掲載され、学習を通じて、読書の意義と効用について理解を深めることができるよう工夫されている。

《その他の項目》（各教科共通）	
我が国の伝統や文化、国土や歴史に対する理解、他国の多様な文化の尊重に関する特徴や工夫	<ul style="list-style-type: none"> ・古典などを読むことを通して、我が国の文化の特質や、我が国の文化と中国など外国の文化との関係について理解を深められるよう教材が設定されている。 ・「古文の窓」として、中国小説の翻案に関するコラムが掲載されている。 ・巻頭及び巻末に古典の世界の人々の生活に関する理解を促す図版が掲載されている。
人権課題（同和問題、北朝鮮による拉致問題等）に関する特徴や工夫	記載なし
安全・防災や自然災害の扱い	<ul style="list-style-type: none"> ・「方丈記」の「安元の大火」が掲載されている。
オリンピック・パラリンピックに関する特徴や工夫	記載なし
固定的な性別役割分担意識に関する記述等	<ul style="list-style-type: none"> ・「枕草子」の「すさまじきもの」に「博士のうち続き女児生ませたる。」という記述が見られる。 ・「平安時代の後宮一定子をめぐる人々」で「女房は、中流貴族出身者が多かったようで、女性は家庭に入るのが一般的だった当時にあつては、数少ない就職先であった。」という記述が見られる。 ・「和歌というメディア」という文章で、本文に「また、同じく『枕草子』で女性教育に必要なものとして挙げられているのは、字を美しく書けること、琴を上手に弾けること、『古今和歌集』の全ての歌を覚えること、という三つである。」という記述が見られる。

(2) 構成上の工夫

デジタルコンテンツの扱い	<ul style="list-style-type: none"> ・古典作品を紹介する映像資料や、シミュレーション形式の活用表に、二次元コードを読み込んでアクセスできるよう工夫されている。
ユニバーサルデザインの視点	<ul style="list-style-type: none"> ・全ての生徒の色覚特性に適應するようにデザインされている。
自立した学習者の育成に資する工夫	<ul style="list-style-type: none"> ・巻頭に「この教科書で学習するために」、巻末に「この教科書で学ぶこと」が示され、学習者自身が身に付けるべき力や学習目標、学び方を理解できるよう工夫されている。

教科名	国語
科目名	古典探究

発行者（略称）	東書
教科書番号	古探002-904
教科書名	精選古典探究 漢文編

(1) 内容

a 単元など内容や時間のまとまりを見通して、その中で育む資質・能力の育成（各教科共通）	
【言葉の特徴や使い方に関する事項】	・教材末に「学習の手引き」「語句と表現」が設けられ、古典に用いられている語句の意味や用法、訓読のきまり、表現の技法などについての理解を深められるよう工夫されている。
【読むこと】	<ul style="list-style-type: none"> ・思想、史伝、古体詩、近体詩などが取り上げられ、文章の種類を踏まえて、構成や展開、内容を的確に捉えたり、解釈したりできるよう教材が設定されている。 ・「漢文の窓」というコラムが掲載され、古典の作品や文章を多面的・多角的な視点から読み深めることができるよう工夫されている。 ・「参考」として、単元の教材と関連する他の作品が掲載されている。 ・「言語活動」が設けられ、学習したことを基に調べ学習をしたり、表現活動をしたり、関連する他の作品と読み比べたりすることができるよう工夫されている。 ・教材末や単元末に「学習の手引き」や「言語活動」が設けられ、教材の種類や内容に応じて読みを深められるよう工夫されている。

b 読書に関する指導	
	・「言語活動」の中に「本の帯を作ろう」という活動が設定されている。

《その他の項目》（各教科共通）	
我が国の伝統や文化、国土や歴史に対する理解、他国の多様な文化の尊重に関する特徴や工夫	<ul style="list-style-type: none"> ・古典などを読むことを通して、我が国の文化の特質や、我が国の文化と中国など外国の文化との関係について理解を深められるよう教材が設定されている。 ・「白楽天と日本文学」という単元が設定されている。 ・「漢文の窓」として、「明治の文豪と漢詩」「白楽天と日本人」に関するコラムが掲載されている。 ・巻頭及び巻末に中国の古典の世界の人々の生活に関する理解を促す図版が掲載されている。
人権課題（同和問題、北朝鮮による拉致問題等）に関する特徴や工夫	記載なし
	記載なし
オリンピック・パラリンピックに関する特徴や工夫	記載なし
固定的な性別役割分担意識に関する記述等	記載なし

(2) 構成上の工夫

デジタルコンテンツの扱い	・教材に関連する動画や、音声、画像に、二次元コードを読み込んでアクセスできるように工夫されている。
ユニバーサルデザインの視点	・全ての生徒の色覚特性に適應するようにデザインされている。
自立した学習者の育成に資する工夫	・巻頭に「この教科書で学習するために」、巻末に「この教科書で学ぶこと」が示され、学習者自身が身に付けるべき力や学習目標、学び方を理解できるよう工夫されている。

教科名	国語
科目名	古典探究

発行者（略称）	三省堂
教科書番号	古探015-901
教科書名	精選 古典探究 古文編 改訂版

(1) 内容

a 単元など内容や時間のまとまりを見通して、その中で育む資質・能力の育成（各教科共通）	
【言葉の特徴や使い方に関する事項】	<ul style="list-style-type: none"> ・「学びを広げる」として「古語と現代語」という活動が設けられ、語形が同じでも古語と現代語で意味が異なる語について理解が深められるよう工夫されている。 ・「文法から解釈へ」という3編のコラムが掲載され、文語のきまりに関する興味・関心を喚起できるよう工夫されている。 ・教材末に「文法と語彙」が設けられ、古典に用いられている語句の意味や用法、文語のきまり、表現の技法などについての理解を深められるよう工夫されている。
【読むこと】	<ul style="list-style-type: none"> ・説話、随筆、作り物語、歌物語、歴史物語、日記、軍記物語、和歌、俳諧、歌論、などが取り上げられ、文章の種類を踏まえて、構成や展開、内容を的確に捉えたり、解釈したりできるような教材が設定されている。 ・「参考」として、単元の教材と関連する他の作品が掲載されている。 ・「古典の扉」というコラムが掲載され、古典の作品や文章を多面的・多角的な視点から読み深めることができるよう工夫されている。 ・「学びを広げる」が設定され、学習したことを基に調べ学習をしたり、表現活動をしたり、関連する他の作品と読み比べたりすることができるよう工夫されている。 ・教材末に「課題」が設けられ、教材の種類や内容に応じて読みを深められるよう工夫されている。

b 読書に関する指導	
	「ブックガイド」が設けられ、単元に関連する書籍が紹介されている。

《その他の項目》（各教科共通）	
我が国の伝統や文化、国土や歴史に対する理解、他国の多様な文化の尊重に関する特徴や工夫	<ul style="list-style-type: none"> ・古典などを読むことを通して、我が国の文化の特質や、我が国の文化と中国など外国の文化との関係について理解が深められるよう教材が設定されている。 ・「参考」として、白居易の漢詩が掲載されている。 ・巻頭・巻末に古典の世界の人々の生活に関する理解を促す図版が掲載されている。
人権課題（同和問題、北朝鮮による拉致問題等）に関する特徴や工夫	記載なし
安全・防災や自然災害の扱い	・「方丈記」の「安元の大火」が掲載されている。
オリンピック・パラリンピックに関する特徴や工夫	記載なし
固定的な性別役割分担意識に関する記述等	<ul style="list-style-type: none"> ・「枕草子」の「すさまじきもの」に「博士のうち続き女児生ませたる。」という記述が見られる。 ・「古典の扉」の「垣間見」で「高貴な女性が外部の者に姿をさらすことをよしとしなかった貴族社会では、」という記述が見られる。

(2) 構成上の工夫

デジタルコンテンツの扱い	・学習の参考となる情報に、二次元コードを読み込んでアクセスできるよう工夫されている。
ユニバーサルデザインの視点	<ul style="list-style-type: none"> ・カラーユニバーサルデザインに配慮して編集されている。 ・UDフォントが使用されている。
自立した学習者の育成に資する工夫	・巻頭に「この教科書で身につく言葉の力」、「この教科書で学習するために」が示され、学習者自身が身に付けるべき力や学習目標、学び方を理解できるよう工夫されている。

教科名	国語
科目名	古典探究

発行者（略称）	三省堂
教科書番号	古探015-902
教科書名	精選 古典探究 漢文編 改訂版

(1) 内容

a 単元など内容や時間のまとまりを見通して、その中で育む資質・能力の育成（各教科共通）	
【言葉の特徴や使い方に関する事項】	<ul style="list-style-type: none"> ・「故事成語」という単元が設けられ、故事成語について理解を深められるよう工夫されている。 ・「漢文読解のために」として、書き下し文を書く時の注意点や漢詩の形式等のコラムを掲載している。 ・教材末に「文法と語彙」が設けられ、古典に用いられている語句の意味や用法、表現の技法などについての理解を深められるよう工夫されている。
【読むこと】	<ul style="list-style-type: none"> ・思想、史伝、古体詩、近体詩などが取り上げられ、文章の種類を踏まえて、構成や展開、内容を的確に捉えたり、解釈したりできるよう教材が設定されている。 ・「参考」として、単元の教材と関連する他の作品が掲載されている。 ・「古典の扉」というコラムが掲載され、古典の作品や文章を多面的・多角的な視点から読み深めることができるよう工夫されている。 ・「学びを広げる」が設定され、学習したことを基に調べ学習をしたり、表現活動をしたり、関連する他の作品と読み比べたりすることができるよう工夫されている。 ・教材末に「課題」が設けられ、教材の種類や内容に応じて読みを深められるよう工夫されている。

b 読書に関する指導	
	<ul style="list-style-type: none"> ・「ブックガイド」が設けられ、単元に関連する書籍が紹介されている。

《その他の項目》（各教科共通）	
我が国の伝統や文化、国土や歴史に対する理解、他国の多様な文化の尊重に関する特徴や工夫	<ul style="list-style-type: none"> ・古典などを読むことを通して、我が国の文化の特質や、我が国の文化と中国など外国の文化との関係について理解を深められるよう教材が設定されている。 ・「日本の漢詩文」という単元が設定されている。 ・巻末に中国の古典の世界の人々の生活に関する理解を促す資料が掲載されている。
人権課題（同和問題、北朝鮮による拉致問題等）に関する特徴や工夫	記載なし
安全・防災や自然災害の扱い	記載なし
オリンピック・パラリンピックに関する特徴や工夫	記載なし
固定的な性別役割分担意識に関する記述等	記載なし

(2) 構成上の工夫

デジタルコンテンツの扱い	<ul style="list-style-type: none"> ・学習の参考となる情報に、二次元コードを読み込んでアクセスできるよう工夫されている。
ユニバーサルデザインの視点	<ul style="list-style-type: none"> ・カラーユニバーサルデザインに配慮して編集されている。 ・UDフォントが使用されている。
自立した学習者の育成に資する工夫	<ul style="list-style-type: none"> ・巻頭に「この教科書で身につく言葉の力」、「この教科書で学習するために」が示され、学習者自身が身に付けるべき力や学習目標、学び方を理解できるよう工夫されている。

教科名	国語
科目名	古典探究

発行者（略称）	大修館
教科書番号	古探050-901
教科書名	古典探究 古文編 改訂版

(1) 内容

a 単元など内容や時間のまとまりを見通して、その中で育む資質・能力の育成（各教科共通）	
【言葉の特徴や使い方に関する事項】	<ul style="list-style-type: none"> ・「まぎらわしい語の識別」が取り上げられ、文章読解の上で注意すべき文法事項の知識が身につくよう工夫されている。 ・教材末の「学習のポイント」に「語句と表現」が設けられ、古典に用いられている語句の意味や用法、文語のきまりなどについての理解を深められるよう工夫されている。
【読むこと】	<ul style="list-style-type: none"> ・説話、随筆、作り物語、歌物語、日記、軍記物語、和歌、歌論、歴史物語、俳諧、古典芸能などが取り上げられ、文章の種類を踏まえて、構成や展開、内容を的確に捉えたり、解釈したりできるよう教材が設定されている。 ・「比べ読み」「視点」として、単元の教材と関連する他の作品が掲載されている。 ・「古文の窓」というコラムが掲載され、古典の作品や文章を多面的・多角的な視点から読み深めることができるよう工夫されている。 ・教材末に「学習のポイント」が設けられ、教材の種類や内容に応じて読みを深められるよう工夫されている。

b 読書に関する指導	
	<ul style="list-style-type: none"> ・「読書案内」が設けられ、単元に関連する書籍が紹介されている。

《その他の項目》（各教科共通）	
我が国の伝統や文化、国土や歴史に対する理解、他国の多様な文化の尊重に関する特徴や工夫	<ul style="list-style-type: none"> ・古典などを読むことを通して、我が国の文化の特質や、我が国の文化と中国など外国の文化との関係について理解を深められるよう教材が設定されている。 ・巻頭、巻末に古典の世界の人々の生活に関する理解を促す図版が掲載されている。
人権課題（同和問題、北朝鮮による拉致問題等）に関する特徴や工夫	記載なし
安全・防災や自然災害の扱い	<ul style="list-style-type: none"> ・「方丈記」の「安元の大火」が掲載されている。
オリンピック・パラリンピックに関する特徴や工夫	記載なし
固定的な性別役割分担意識に関する記述等	<ul style="list-style-type: none"> ・「枕草子」の「すさまじきもの」に「博士のうち続き女兒生ませたる。」という記述が見られる。

(2) 構成上の工夫

デジタルコンテンツの扱い	<ul style="list-style-type: none"> ・教材に関連する動画や音声、画像、課題に、二次元コードを読み込んでアクセスできるよう工夫されている。
ユニバーサルデザインの視点	記載なし
自立した学習者の育成に資する工夫	<ul style="list-style-type: none"> ・巻頭に「この教科書で身につく力」、「この教科書で学習するために」が示され、学習者自身が身に付けるべき力や学習目標、学び方を理解できるよう工夫されている。

教科名	国語
科目名	古典探究

発行者（略称）	大修館
教科書番号	古探050-902
教科書名	古典探究 漢文編 改訂版

(1) 内容

a 単元など内容や時間のまとまりを見通して、その中で育む資質・能力の育成（各教科共通）	
【言葉の特徴や使い方に関する事項】	・「故事と逸話」という単元が設けられ、故事成語について理解を深められるよう工夫されている。
【読むこと】	・古文では思想、史伝、古体詩、近体詩などが取り上げられ、文章の種類を踏まえて、構成や展開、内容を的確に捉えたり、解釈したりできるよう教材が設定されている。 ・「比べ読み」「視点」として、単元の教材と関連する他の日本の作品が掲載されている。 ・「漢文の窓」というコラムが掲載され、古典の作品や文章を多面的・多角的な視点から読み深めることができるよう工夫されている。 ・教材末に「学習のポイント」が設けられ、教材の種類や内容に応じて読みを深められるよう工夫されている。
b 読書に関する指導	
	・「読書案内」が設けられ、単元に関連する書籍が紹介されている。
《その他の項目》（各教科共通）	
我が国の伝統や文化、国土や歴史に対する理解、他国の多様な文化の尊重に関する特徴や工夫	・古典などを読むことを通して、我が国の文化の特質や、我が国の文化と中国など外国の文化との関係について理解を深められるよう教材が設定されている。 ・「日本の漢詩文」「長恨歌と日本の文学」という単元が設定されている。 ・「漢文の窓」として、「漢文と日本人」「日本における『史記』の受容」に関するコラムが掲載されている。 ・巻頭に中国の古典の世界の人々の生活に関する理解を促す図版が掲載されている。
人権課題（同和問題、北朝鮮による拉致問題等）に関する特徴や工夫	記載なし
安全・防災や自然災害の扱い	記載なし
オリンピック・パラリンピックに関する特徴や工夫	記載なし
固定的な性別役割分担意識に関する記述等	記載なし

(2) 構成上の工夫

デジタルコンテンツの扱い	・教材に関連する動画や音声、画像、課題に、二次元コードを読み込んでアクセスできるよう工夫されている。
ユニバーサルデザインの視点	記載なし
自立した学習者の育成に資する工夫	・巻頭に「この教科書で身につく力」、「この教科書で学習するために」が示され、学習者自身が身に付けるべき力や学習目標、学び方を理解できるよう工夫されている。

教科名	国語
科目名	古典探究

発行者（略称）	大修館
教科書番号	古探050-903
教科書名	精選 古典探究 改訂版

(1) 内容

a 単元など内容や時間のまとまりを見通して、その中で育む資質・能力の育成（各教科共通）	
【言葉の特徴や使い方に関する事項】	<ul style="list-style-type: none"> ・「故事と逸話」という単元が設けられ、故事成語について理解を深められるよう工夫されている。 ・教材末の「学習のポイント」に「語句と表現」が設けられ、古典に用いられている語句の意味や用法、文語のきまりなどについての理解を深められるよう工夫されている。
【読むこと】	<ul style="list-style-type: none"> ・古文では説話、随筆、作り物語、歌物語、日記、歴史物語、軍記物語、和歌、歌論、俳諧、古典芸能などが取り上げられ、漢文では思想、史伝、古体詩、近体詩などが取り上げられ、文章の種類を踏まえて、構成や展開、内容を的確に捉えたり、解釈したりできるよう教材が設定されている。 ・「比べ読み」「視点」として、単元の教材と関連する他の作品が掲載されている。 ・「古文の窓」「漢文の窓」というコラムが掲載され、古典の作品や文章を多面的・多角的な視点から読み深めることができるよう工夫されている。 ・各教材末に「学習のポイント」が設けられ、教材の種類や内容に応じて読みを深められるよう工夫されている。
b 読書に関する指導	
	<ul style="list-style-type: none"> ・「読書案内」が設けられ、単元に関連する書籍が紹介されている。
《その他の項目》（各教科共通）	
我が国の伝統や文化、国土や歴史に対する理解、他国の多様な文化の尊重に関する特徴や工夫	<ul style="list-style-type: none"> ・古典などを読むことを通して、我が国の文化の特質や、我が国の文化と中国など外国の文化との関係について理解を深められるよう教材が設定されている。 ・「日本の漢詩」「長恨歌と日本の文学」という単元が設定されている。 ・「漢文の窓」として、「漢文と日本人」「日本における『史記』の受容」に関するコラムが掲載されている。 ・「視点」として、「日本の桜・中国の桃」という文章が掲載されている。 ・巻頭及び巻末に日本や中国の古典の世界の人々の生活に関する理解を促す図版が掲載されている。
人権課題（同和問題、北朝鮮による拉致問題等）に関する特徴や工夫	記載なし
安全・防災や自然災害の扱い	<ul style="list-style-type: none"> ・「方丈記」の「安元の大火」が掲載されている。
オリンピック・パラリンピックに関する特徴や工夫	記載なし
固定的な性別役割分担意識に関する記述等	<ul style="list-style-type: none"> ・「枕草子」の「すさまじきもの」に「博士のうち続き女兒生ませたる。」という記述が見られる。

(2) 構成上の工夫

デジタルコンテンツの扱い	<ul style="list-style-type: none"> ・教材に関連する動画や音声、画像、課題に、二次元コードを読み込んでアクセスできるよう工夫されている。
ユニバーサルデザインの視点	記載なし
自立した学習者の育成に資する工夫	<ul style="list-style-type: none"> ・巻頭に「この教科書で身につく力」、「この教科書で学習するために」が示され、学習者自身が身に付けるべき力や学習目標、学び方を理解できるよう工夫されている。

教科名	国語
科目名	古典探究

発行者（略称）	数研
教科書番号	古探104-901◆
教科書名	改訂版 古典探究 古文編
(1) 内容	
a 単元など内容や時間のまとまりを見通して、その中で育む資質・能力の育成（各教科共通）	
【言葉の特徴や使い方に関する事項】	<ul style="list-style-type: none"> ・「ズームアップ」という12編のコラムが掲載されており、その中で、説話、物語、随筆、和歌、連歌、日記などが取り上げられている。 ・「古文チェックポイント」が設けられ、文語のきまりや敬語について、理解を深められるよう工夫されている。 ・教材末に「ことばと表現」が設けられ、古典に用いられている語句の意味や用法、文語のきまり、表現の技法などについての理解を深められるよう工夫されている。
【読むこと】	<ul style="list-style-type: none"> ・説話、歌物語、随筆、日記、作り物語、歴史物語、軍記物語、歌論、和歌、俳諧などが取り上げられ、文章の種類を踏まえて、構成や展開、内容を的確に捉えたり、解釈したりできるよう教材が設定されている。 ・「探究の扉」として、単元の教材と関連する他の作品が掲載されている。 ・「ズームアップ」というコラムが掲載され、古典の作品や文章を多面的・多角的な視点から読み深めることができるよう工夫されている。 ・教材末に「学習」「言語活動」が設けられ、教材の種類や内容に応じて読みを深められるよう工夫されている。
b 読書に関する指導	
	<ul style="list-style-type: none"> ・「ズームアップ」の「随筆文学」というコラムの中で、関連する書籍が紹介されている。
《その他の項目》（各教科共通）	
我が国の伝統や文化、国土や歴史に対する理解、他国の多様な文化の尊重に関する特徴や工夫	<ul style="list-style-type: none"> ・古典などを読むことを通して、我が国の文化の特質や、我が国の文化と中国など外国の文化との関係について理解を深められるよう教材が設定されている。 ・巻頭に古典の世界の人々の生活に関する理解を促す図版が掲載されている。
人権課題（同和問題、北朝鮮による拉致問題等）に関する特徴や工夫	記載なし
安全・防災や自然災害の扱い	<ul style="list-style-type: none"> ・「方丈記」の「養和の飢饉」が掲載されている。
オリンピック・パラリンピックに関する特徴や工夫	記載なし
固定的な性別役割分担意識に関する記述等	<ul style="list-style-type: none"> ・「枕草子」の「すさまじきもの」に「博士のうち続き女兒ませたる。」という記述が見られる。 ・解説「垣間見から始まる恋」において、「平安貴族女性は成人すると御簾や几帳に隠れて暮らし、肉親でも男性に顔を見せなかった。」という記述が見られる。
(2) 構成上の工夫	
デジタルコンテンツの扱い	<ul style="list-style-type: none"> ・教材に関連する音声や課題に、二次元コードを読み込んでアクセスできるよう工夫されている。
ユニバーサルデザインの視点	<ul style="list-style-type: none"> ・カラーユニバーサルデザインに配慮されている。
自立した学習者の育成に資する工夫	<ul style="list-style-type: none"> ・巻頭に「領域別学習の指針」、「この教科書で学習するために」が示され、学習者自身が身に付けるべき力や学習目標、学び方を理解できるよう工夫されている。

教科名	国語
科目名	古典探究

発行者（略称）	数研
教科書番号	古探104-902◆
教科書名	改訂版 古典探究 漢文編

(1) 内容

a 単元など内容や時間のまとまりを見通して、その中で育む資質・能力の育成（各教科共通）	
【言葉の特徴や使い方に関する事項】	<ul style="list-style-type: none"> ・「故事」という単元が設けられ、故事成語について理解を深められるよう工夫されている。 ・「ズームアップ」という9編のコラムが掲載されており、その中で、漢詩、逸話、小説などが取り上げられている。 ・「漢文チェックポイント」が設けられ、訓読のきまりなどについて、理解を深められるよう工夫されている。 ・教材末に「ことばと表現」が設けられ、古典に用いられている語句の意味や用法、表現の技法などについての理解を深められるよう工夫されている。
【読むこと】	<ul style="list-style-type: none"> ・思想、史伝、古体詩、近体詩などが取り上げられ、文章の種類を踏まえて、構成や展開、内容を的確に捉えたり、解釈したりできるよう教材が設定されている。 ・「探究の扉」として、単元の教材と関連する他の作品が掲載されている。 ・「ズームアップ」というコラムが掲載され、古典の作品や文章を多面的・多角的な視点から読み深めることができるよう工夫されている。 ・教材末に設けられている「学習」や「言語活動の実践」により、教材の種類や内容に応じて読みを深められるよう工夫されている。
b 読書に関する指導	
	<ul style="list-style-type: none"> ・「言語活動の実践」の「漢詩を作ってみよう」や「ズームアップ」の司馬遷と『史記』の中で、関連する書籍が紹介されている。
《その他の項目》（各教科共通）	
我が国の伝統や文化、国土や歴史に対する理解、他国の多様な文化の尊重に関する特徴や工夫	<ul style="list-style-type: none"> ・古典などを読むことを通して、我が国の文化の特質や、我が国の文化と中国など外国の文化との関係について理解を深められるよう教材が設定されている。 ・「漢詩」の単元で「日本の詩」を掲載している。 ・「ズームアップ」として「訓読の歴史」を掲載している。 ・「探究の扉」として「義訓と振り仮名」、「日本外史」と「史記」の比べ読み、「古今和歌集」の真名序、夏目漱石「草枕」、正岡子規「杜甫石壕吏」の比較が設定されている。 ・巻頭に中国の古典の世界の人々の生活に関する理解を促す図版が掲載されている。
人権課題（同和問題、北朝鮮による拉致問題等）に関する特徴や工夫	記載なし
安全・防災や自然災害の扱い	記載なし
オリンピック・パラリンピックに関する特徴や工夫	記載なし
固定的な性別役割分担意識に関する記述等	記載なし

(2) 構成上の工夫

デジタルコンテンツの扱い	・教材に関連する音声や課題に、二次元コードを読み込んでアクセスできるよう工夫されている。
ユニバーサルデザインの視点	・カラーユニバーサルデザインに配慮されている。
自立した学習者の育成に資する工夫	巻頭に「領域別学習の指針」、「この教科書で学習するために」が示され、学習者自身が身に付けるべき力や学習目標、学び方を理解できるよう工夫されている。

教科名	国語
科目名	古典探究

発行者（略称）	数研
教科書番号	古探104-903◆
教科書名	改訂版 高等学校 古典探究

(1) 内容

a 単元など内容や時間のまとまりを見通して、その中で育む資質・能力の育成（各教科共通）	
【言葉の特徴や使い方に関する事項】	<ul style="list-style-type: none"> ・漢文では「故事」という単元が設けられ、故事成語について理解を深められるよう工夫されている。 ・「ズームアップ」というコラムが掲載されており、その中で、古文の説話、物語、随筆、日記、連歌、和歌などが、漢文の訓読、逸話、小説などが取り上げられている。 ・古文には「古文チェックポイント」が、漢文には「漢文チェックポイント」が設けられ、文語のきまりや敬語、訓読のきまりなどについて、理解を深められるよう工夫されている。 ・教材末に「ことばと表現」が設けられ、古典に用いられている語句の意味や用法、文語のきまり、表現の技法などについての理解を深められるよう工夫されている。
【読むこと】	<ul style="list-style-type: none"> ・古文では説話、歌物語、随筆、日記、作り物語、歴史物語、軍記物語、和歌、俳諧、歌論、などが、漢文では思想、史伝、古体詩、近体詩などが取り上げられ、文章の種類を踏まえて、構成や展開、内容を的確に捉えたり、解釈したりできるよう教材が設定されている。 ・「探究の扉」として、単元の教材と関連する他の作品が掲載されている。 ・「ズームアップ」というコラムが掲載され、古典の作品や文章を多面的・多角的な視点から読み深めることができるよう工夫されている。 ・教材末に「学習」「言語活動」が設けられ、教材の種類や内容に応じて読みを深められるよう工夫されている。

b 読書に関する指導	
	<ul style="list-style-type: none"> ・「ズームアップ」の「随筆文学」、「言語活動の実践」の「漢詩を作ってみよう」などのコラムの中で、関連する書籍が紹介されている。

《その他の項目》（各教科共通）	
我が国の伝統や文化、国土や歴史に対する理解、他国の多様な文化の尊重に関する特徴や工夫	<ul style="list-style-type: none"> ・古典などを読むことを通して、我が国の文化の特質や、我が国の文化と中国など外国の文化との関係について理解を深められるよう教材が設定されている。 ・「漢詩」の単元で「日本の詩」を掲載している。 ・「ズームアップ」として「訓読の歴史」を掲載している。 ・「探究の扉」として「義訓と振り仮名」、「日本外史」と「史記」の比べ読み、「古今和歌集」の真名序、夏目漱石「草枕」、正岡子規「杜甫石壕吏」の比べ読みが設定されている。 ・巻頭に古典の世界の人々の生活に関する理解を促す図版が掲載されている。
人権課題（同和問題、北朝鮮による拉致問題等）に関する特徴や工夫	記載なし
安全・防災や自然災害の扱い	・「方丈記」の「養和の飢饉」が掲載されている。
オリンピック・パラリンピックに関する特徴や工夫	記載なし
固定的な性別役割分担意識に関する記述等	<ul style="list-style-type: none"> ・「枕草子」の「すさまじきもの」に「博士のうち続き女児ませたる。」という記述が見られる。 ・解説「垣間見から始まる恋」において、「平安貴族女性は成人すると御簾や几帳に隠れて暮らし、肉親でも男性に顔を見せなかった。」という記述が見られる。

(2) 構成上の工夫

デジタルコンテンツの扱い	・教材に関連する音声や課題に、二次元コードを読み込んでアクセスできるよう工夫されている。
ユニバーサルデザインの視点	・カラーユニバーサルデザインに配慮されている。
自立した学習者の育成に資する工夫	巻頭に「領域別学習の指針」、「この教科書で学習するために」が示され、学習者自身が身に付けるべき力や学習目標、学び方を理解できるよう工夫されている。

教科名	国語
科目名	古典探究

発行者（略称）	文英堂
教科書番号	古探712
教科書名	古典探究

(1) 内容

a 単元など内容や時間のまとまりを見通して、その中で育む資質・能力の育成（各教科共通）	
【言葉の特徴や使い方に関する事項】	<ul style="list-style-type: none"> ・漢文では「漢文に親しむ」という単元で動物寓話が取り上げられ、故事成語について理解を深められるよう工夫されている。 ・21編の「コラム」が設けられており、その中で、和歌や連歌・俳諧、物語、史書、評論、神話、寓話、漢詩などが取り上げられている。 ・「古文読解のために」「漢文読解のために」が設けられ、文語のきまりや敬語、訓読のきまりなどについて、理解を深められるよう工夫されている。 ・各教材末に「学習」が設けられ、古典に用いられている語句の意味や用法、文語のきまり、表現の技法などについての理解を深められるよう工夫されている。
【読むこと】	<ul style="list-style-type: none"> ・古文では説話、随筆、作り物語、和歌、日記、軍記物語、歌物語、歴史物語、歌論、俳諧、古典芸能などが、漢文では思想、史伝、古体詩、近体詩などが取り上げられ、文章の種類を踏まえて、構成や展開、内容を的確に捉えたり、解釈したりできるよう教材が設定されている。 ・「参考」として、単元の教材と関連する他の作品や同一作品の別の文章が掲載されている。 ・「コラム」「探究の扉」が掲載され、古典の作品や文章を多面的・多角的な視点から読み深めることができるよう工夫されている。 ・「言語活動」が設けられ、学習したことを、表現活動につなげられるよう工夫されている。 ・各教材末に「学習」が設けられ、教材の種類や内容に応じて読みを深められるよう工夫されている。

b 読書に関する指導	
	<ul style="list-style-type: none"> ・各部末に「読書のすすめ」が設けられ、単元に関連する書籍が紹介されている。

《その他の項目》（各教科共通）	
我が国の伝統や文化、国土や歴史に対する理解、他国の多様な文化の尊重に関する特徴や工夫	<ul style="list-style-type: none"> ・古典などを読むことを通して、我が国の文化の特質や、我が国の文化と中国など外国の文化との関係について理解を深められるよう教材が設定されている。 ・「漢詩」の単元で日本の漢詩を掲載している。 ・「人虎伝」が掲載され、「山月記」と比較する学習が設定されている。 ・「畏饑頭」が掲載され、古典落語「饑頭こわい」と読み比べる学習が設定されている。 ・「長恨歌と平安文学」というコラムを掲載している。 ・巻頭及び巻末に古典の世界の人々の生活に関する理解を促す図版が掲載されている。
人権課題（同和問題、北朝鮮による拉致問題等）に関する特徴や工夫	記載なし
安全・防災や自然災害の扱い	<ul style="list-style-type: none"> ・「方丈記」の「大地震」が掲載され、「ハザードマップを調べてみよう」という言語活動が設けられている。
オリンピック・パラリンピックに関する特徴や工夫	記載なし
固定的な性別役割分担意識に関する記述等	記載なし

(2) 構成上の工夫

デジタルコンテンツの扱い	記載なし
ユニバーサルデザインの視点	記載なし
自立した学習者の育成に資する工夫	<ul style="list-style-type: none"> ・巻頭に「この教科書で学習するために」を掲載し、学び方を示すとともに、単元の冒頭において、単元の目標を掲げ、学習者自身が身に付けるべき力や学習目標が示されている。

教科名	国語
科目名	古典探究

発行者（略称）	明治
教科書番号	古探117-901◆
教科書名	新 精選 古典探究 古文編

(1) 内容

a 単元など内容や時間のまとまりを見通して、その中で育む資質・能力の育成（各教科共通）	
【言葉の特徴や使い方に関する事項】	・教材末に「言葉と表現」が設けられ、古典に用いられている語句の意味や用法、文語のきまり、表現の技法などについての理解を深められるよう工夫されている。
【読むこと】	<ul style="list-style-type: none"> ・説話、随筆、歌物語、軍記物語、日記、作り物語、歴史物語、和歌、俳諧、歌論、古典芸能などが取り上げられ、文章の種類を踏まえて、構成や展開、内容を的確に捉えたり、解釈したりできるように教材が設定されている。 ・「読み比べ」「参考」「古典についての評論文」として、関連する他の作品や同一作品の別の文章などが掲載されている。 ・「古文の窓」としてコラムが掲載され、古典の作品や文章を多面的・多角的な視点から読み深めることができるよう工夫されている。 ・教材末に「学習のポイント」「言語活動」が設けられ、教材の種類や内容に応じて読みを深められるよう工夫されている。 ・単元末に「単元の言語活動」が設けられ、学習したことを、表現活動につなげられるよう工夫されている。
b 読書に関する指導	
	・「読書のすすめ」が設けられ、単元に関連する書籍が紹介されている。
《その他の項目》（各教科共通）	
我が国の伝統や文化、国土や歴史に対する理解、他国の多様な文化の尊重に関する特徴や工夫	・巻末に古典の世界の人々の生活に関する理解を促す図版が掲載されている。
人権課題（同和問題、北朝鮮による拉致問題等）に関する特徴や工夫	記載なし
安全・防災や自然災害の扱い	・「方丈記」の「養和の飢饉」が掲載されている。
オリンピック・パラリンピックに関する特徴や工夫	記載なし
固定的な性別役割分担意識に関する記述等	・「枕草子」の「すさまじきもの」に「博士のうち続き女児生ませたる。」という記述が見られる。

(2) 構成上の工夫

デジタルコンテンツの扱い	・教材に関連する音声や課題に、二次元コードを読み込んでアクセスできるよう工夫されている。
ユニバーサルデザインの視点	記載なし
自立した学習者の育成に資する工夫	・巻頭に「この教科書で学習するに当たって」を掲載するとともに、単元の冒頭において、学習者自身が身に付けるべき力や学習目標が示されている。

教科名	国語
科目名	古典探究

発行者（略称）	明治
教科書番号	古探117-902◆
教科書名	新 精選 古典探究 漢文編

(1) 内容

a 単元など内容や時間のまとまりを見通して、その中で育む資質・能力の育成（各教科共通）

【言葉の特徴や使い方に関する事項】	<ul style="list-style-type: none"> ・「故事・寓話」という単元が設けられ、故事成語について理解を深められるよう工夫されている。 ・「漢文の窓」というコラムが掲載されており、その中で、漢詩、散文、歴史書、小説、諸子百家などが取り上げられている。 ・教材末に「言葉と表現」が設けられ、古典に用いられている語句の意味や用法、訓読のきまり、表現の技法などについての理解を深められるよう工夫されている。
【読むこと】	<ul style="list-style-type: none"> ・思想、史伝、古体詩、近体詩などが取り上げられ、文章の種類を踏まえて、構成や展開、内容を的確に捉えたり、解釈したりできるよう教材が設定されている。 ・「参考」「古典についての評論文」として、関連する他の作品や同一作品の別の文章などが掲載されている。 ・「漢文の窓」としてコラムが掲載され、古典の作品や文章を多面的・多角的な視点から読み深めることができるよう工夫されている。 ・教材末に「学習のポイント」「言語活動」が設けられ、教材の種類や内容に応じて読みを深められるよう工夫されている。 ・単元末に「単元の言語活動」が設けられ、学習したことを、表現活動につなげられるよう工夫されている。

b 読書に関する指導

	<ul style="list-style-type: none"> ・「読書のすすめ」が設けられ、単元に関連する書籍が紹介されている。
--	---

《その他の項目》（各教科共通）

我が国の伝統や文化、国土や歴史に対する理解、他国の多様な文化の尊重に関する特徴や工夫	<ul style="list-style-type: none"> ・古典などを読むことを通して、我が国の文化の特質や、我が国の文化と中国など外国の文化との関係について理解を深められるよう教材が設定されている。 ・「日本人と漢詩文」「『長恨歌』と日本文学」という単元が設定されている。 ・「漢文の窓」として、「『十八史略』と日本」「『白氏文集』と日本文学」というコラムが掲載されている。 ・巻頭に中国の古典の世界の地図や風景に関する理解を促す図版が掲載されている。
人権課題（同和問題、北朝鮮による拉致問題等）に関する特徴や工夫	記載なし
安全・防災や自然災害の扱い	記載なし
オリンピック・パラリンピックに関する特徴や工夫	記載なし
固定的な性別役割分担意識に関する記述等	記載なし

(2) 構成上の工夫

デジタルコンテンツの扱い	<ul style="list-style-type: none"> ・教材に関連する音声や課題に、二次元コードを読み込んでアクセスできるよう工夫されている。
ユニバーサルデザインの視点	記載なし
自立した学習者の育成に資する工夫	<ul style="list-style-type: none"> ・巻頭に「この教科書で学習するに当たって」を掲載するとともに、単元の冒頭において、学習者自身が身に付けるべき力や学習目標が示されている。

教科名	国語
科目名	古典探究

発行者（略称）	筑摩
教科書番号	古探143-901
教科書名	古典探究 古文編 改訂版

(1) 内容

a 単元など内容や時間のまとまりを見通して、その中で育む資質・能力の育成（各教科共通）	
【言葉の特徴や使い方に関する事項】	<ul style="list-style-type: none"> ・説話、歌物語、随筆、作り物語、日記、歴史物語、軍記物語、古典芸能、和歌、俳諧、歌論などが取り上げられ、様々な古典作品の種類や特徴について理解が深められるよう教材が設けられている。 ・「コラム」が掲載されており、その中で「敬語法」、「日本の芸能」、「近世のことば」、「上代のことば」が取り上げられている。 ・「まとめ」として、「古文の表現」という教材が掲載されている。 ・教材末に「表現」が設けられ、古典に用いられている語句の意味や用法、文語のきまり、表現の技法などについての理解を深められるよう工夫されている。
【読むこと】	<ul style="list-style-type: none"> ・説話、歌物語、随筆、作り物語、日記、歴史物語、軍記物語、古典芸能、和歌、俳諧、歌論などが取り上げられ、文章の種類を踏まえて、構成や展開、内容を的確に捉えたり、解釈したりできるよう教材が設定されている。 ・「平家物語」と「能」、「古事記」と「日本書紀」、それぞれを比較できる実践が設定されている。 ・教材末に「理解」が設けられ、教材の種類や内容に応じて読みを深められるよう工夫されている。
b 読書に関する指導	
	<ul style="list-style-type: none"> ・「読書案内」が設けられ、単元に関連する書籍が紹介されている。
《その他の項目》（各教科共通）	
我が国の伝統や文化、国土や歴史に対する理解、他国の多様な文化の尊重に関する特徴や工夫	<ul style="list-style-type: none"> ・古典などを読むことを通して、我が国の文化の特質や、我が国の文化と中国など外国の文化との関係について理解を深められるよう教材が設定されている。 ・巻末に古典の世界の人々の生活に関する理解を促す図版が掲載されている。
人権課題（同和問題、北朝鮮による拉致問題等）に関する特徴や工夫	記載なし
安全・防災や自然災害の扱い	<ul style="list-style-type: none"> ・「方丈記」の「安元の大火」「養和の飢饉」が掲載されている。
オリンピック・パラリンピックに関する特徴や工夫	記載なし
固定的な性別役割分担意識に関する記述等	<ul style="list-style-type: none"> ・「枕草子」の「すさまじきもの」に「博士のうち続き女兒生ませたる。」という記述が見られる。

(2) 構成上の工夫

デジタルコンテンツの扱い	<ul style="list-style-type: none"> ・古典作品の紹介や、作品に登場する楽器・寺社、教材に関連する学習・展示施設等に、二次元コードを読み込んでアクセスできるよう工夫されている。
ユニバーサルデザインの視点	<ul style="list-style-type: none"> ・ユニバーサルデザインフォントが使用されている。
自立した学習者の育成に資する工夫	<ul style="list-style-type: none"> ・巻頭に「この教科書で育成する資質・能力」、「この教科書で学習するために」が示され、学習者自身が身に付けるべき力や学習目標、学び方を理解できるよう工夫されている。

教科名	国語
科目名	古典探究

発行者（略称）	筑摩
教科書番号	古探143-902
教科書名	古典探究 漢文編 改訂版

(1) 内容

a 単元など内容や時間のまとまりを見通して、その中で育む資質・能力の育成（各教科共通）	
【言葉の特徴や使い方に関する事項】	<ul style="list-style-type: none"> ・「創成と典故」という単元が設けられ、故事成語について理解を深められるよう工夫されている。 ・5編の「コラム」が掲載されており、その中で史書、漢詩のきまり、諸子百家などが取り上げられている。 ・教材末に「表現」が設けられ、古典に用いられている語句の意味や用法、訓読のきまり、表現の技法などについての理解を深められるよう工夫されている。
【読むこと】	<ul style="list-style-type: none"> ・思想、史伝、古体詩、近体詩などが取り上げられ、文章の種類を踏まえて、構成や展開、内容を的確に捉えたり、解釈したりできるよう教材が設定されている。 ・王昭君を詠んだ漢詩と和歌、「詩経」と「古今和歌集」の「序」、それぞれを比較できる単元が設定されている。 ・「コラム」が掲載され、古典の作品や文章を多面的・多角的な視点から読み深めることができるよう工夫されている。 ・教材末に「理解」が設けられ、教材の種類や内容に応じて読みを深められるよう工夫されている。

b 読書に関する指導	
	<ul style="list-style-type: none"> ・「読書案内」というコラムが設けられ、教材に関連する書籍が紹介されている。

《その他の項目》（各教科共通）	
我が国の伝統や文化、国土や歴史に対する理解、他国の多様な文化の尊重に関する特徴や工夫	<ul style="list-style-type: none"> ・古典などを読むことを通して、我が国の文化の特質や、我が国の文化と中国など外国の文化との関係について理解を深められるよう教材が設定されている。 ・漢詩の単元に日本の漢詩が掲載されている。 ・思想の単元に興膳宏「言と黙」という現代文の評論が掲載されている。 ・「王昭君」をテーマとした詩歌を比較する学習が設定されている。 ・「日本人の漢文」というコラムが掲載されている。 ・巻頭に中国の古典の世界の人々の生活に関する理解を促す図版が掲載されている。
人権課題（同和問題、北朝鮮による拉致問題等）に関する特徴や工夫	記載なし
安全・防災や自然災害の扱い	記載なし
オリンピック・パラリンピックに関する特徴や工夫	記載なし
固定的な性別役割分担意識に関する記述等	記載なし

(2) 構成上の工夫

デジタルコンテンツの扱い	<ul style="list-style-type: none"> ・古典作品の紹介や、作品に登場する人物について掲載された専用ページに、二次元コードを読み込んでアクセスできるよう工夫されている。
ユニバーサルデザインの視点	<ul style="list-style-type: none"> ・ユニバーサルデザインフォントが使用されている。
自立した学習者の育成に資する工夫	<ul style="list-style-type: none"> ・巻頭に「この教科書で育成する資質・能力」、「この教科書で学習するために」が示され、学習者自身が身に付けるべき力や学習目標、学び方を理解できるよう工夫されている。

教科名	国語
科目名	古典探究

発行者（略称）	第一
教科書番号	古探183-901
教科書名	高等学校 改訂版 古典探究 古文編

(1) 内容

a 単元など内容や時間のまとまりを見通して、その中で育む資質・能力の育成（各教科共通）	
【言葉の特徴や使い方に関する事項】	<ul style="list-style-type: none"> ・単元冒頭に「出典解説」が設けられ、様々な古典作品の種類や特徴について理解が深められるよう工夫されている。 ・「古語と現代語を比較する」という言語活動が設けられ、古語と現代語の意味の違いについて理解が深められるよう工夫されている。 ・教材末に「言葉の手引き」が設けられ、古典に用いられている語句の意味や用法、文語のきまり、表現の技法などについての理解を深められるよう工夫されている。
【読むこと】	<ul style="list-style-type: none"> ・説話、随筆、歌物語、作り物語、歴史物語、軍記物語、日記、和歌、俳諧、歌論などが取り上げられ、文章の種類を踏まえて、構成や展開、内容を的確に捉えたり、解釈したりできるような教材が設定されている。 ・「言語活動」が設定され、学習したことを基に調べ学習をしたり、表現活動をしたり、関連する他の作品と読み比べたりすることができるよう工夫されている。 ・教材末に「学習の手引き」が設けられ、教材の種類や内容に応じて読みを深められるよう工夫されている。
b 読書に関する指導	
	<ul style="list-style-type: none"> ・「古典のしるべ」の中で、教材に関連する書籍が紹介されている。
《その他の項目》（各教科共通）	
我が国の伝統や文化、国土や歴史に対する理解、他国の多様な文化の尊重に関する特徴や工夫	<ul style="list-style-type: none"> ・古典などを読むことを通して、我が国の文化の特質や、我が国の文化と中国など外国の文化との関係について理解を深められるよう教材が設定されている。 ・巻末に古典の世界の人々の生活に関する理解を促す図版が掲載されている。
人権課題（同和問題、北朝鮮による拉致問題等）に関する特徴や工夫	記載なし
安全・防災や自然災害の扱い	<ul style="list-style-type: none"> ・「方丈記」の「安元の大火」が掲載されている。
オリンピック・パラリンピックに関する特徴や工夫	記載なし
固定的な性別役割分担意識に関する記述等	<ul style="list-style-type: none"> ・言語活動「平安時代の結婚」で「このように、別居結婚であったことに加え、男性が複数の妾を持つことが半ば状態化しており、それが、女性にとっては悩みの原因となることもあった。」という記述が見られる。

(2) 構成上の工夫

デジタルコンテンツの扱い	<ul style="list-style-type: none"> ・教材に関する資料や動画に、二次元コードを読み込んでアクセスできるよう工夫されている。
ユニバーサルデザインの視点	<ul style="list-style-type: none"> ・ユニバーサルデザイン（カラーバリアフリーを含む。）に配慮されている。
自立した学習者の育成に資する工夫	<ul style="list-style-type: none"> ・巻頭に「教科書の構成と使い方」を掲載し、学び方を示すとともに、単元の冒頭に「学習のねらい」など学習者自身が身に付けるべき力や学習目標を理解できるよう工夫されている。

教科名	国語
科目名	古典探究

発行者（略称）	第一
教科書番号	古探183-902
教科書名	高等学校 改訂版 古典探究 漢文編

(1) 内容

a 単元など内容や時間のまとまりを見通して、その中で育む資質・能力の育成（各教科共通）	
【言葉の特徴や使い方に関する事項】	<ul style="list-style-type: none"> ・「故事・寓話」という単元が設けられ、故事成語について理解を深められるよう工夫されている。 ・単元冒頭に「出典解説」が設けられ、様々な古典作品の種類や特徴について理解が深められるよう工夫されている。
【読むこと】	<ul style="list-style-type: none"> ・思想、史伝、古体詩、近体詩などが取り上げられ、文章の種類を踏まえて、構成や展開、内容を的確に捉えたり、解釈したりできるよう教材が設定されている。 ・「言語活動」が設定され、学習したことを基に調べ学習をしたり、表現活動をしたり、関連する他の作品と読み比べたりすることができるよう工夫されている。 ・教材末に「学習の手引き」が設けられ、教材の種類や内容に応じて読みを深められるよう工夫されている。
b 読書に関する指導	
	<ul style="list-style-type: none"> ・「古典のしるべ」の中で、教材に関連する書籍が紹介されている。
《その他の項目》（各教科共通）	
我が国の伝統や文化、国土や歴史に対する理解、他国の多様な文化の尊重に関する特徴や工夫	<ul style="list-style-type: none"> ・古典などを読むことを通して、我が国の文化の特質や、我が国の文化と中国など外国の文化との関係について理解を深められるよう教材が設定されている。 ・「日本の詩」という単元が設定されている。 ・「言語活動」として菅原道真と白居易の漢詩の比較、「酒虫」と芥川龍之介「酒虫」の読み比べ、などが設定されている。 ・巻末に中国の古典の世界の人々の生活に関する理解を促す図版が掲載されている。
人権課題（同和問題、北朝鮮による拉致問題等）に関する特徴や工夫	記載なし
安全・防災や自然災害の扱い	記載なし
オリンピック・パラリンピックに関する特徴や工夫	記載なし
固定的な性別役割分担意識に関する記述等	記載なし

(2) 構成上の工夫

デジタルコンテンツの扱い	<ul style="list-style-type: none"> ・教材に関する資料や動画に、二次元コードを読み込んでアクセスできるよう工夫されている。
ユニバーサルデザインの視点	<ul style="list-style-type: none"> ・ユニバーサルデザイン（カラーバリアフリーを含む。）に配慮されている。
自立した学習者の育成に資する工夫	<ul style="list-style-type: none"> ・巻頭に「教科書の構成と使い方」を掲載し、学び方を示すとともに、単元の冒頭に「学習のねらい」など学習者自身が身に付けるべき力や学習目標を理解できるよう工夫されている。

教科名	国語
科目名	古典探究

発行者（略称）	第一
教科書番号	古探183-903
教科書名	高等学校 改訂版 精選古典探究

(1) 内容

a 単元など内容や時間のまとまりを見通して、その中で育む資質・能力の育成（各教科共通）	
【言葉の特徴や使い方に関する事項】	<ul style="list-style-type: none"> ・漢文編で「故事・寓話」という単元が設けられ、故事成語について理解を深められるよう工夫されている。 ・「古語と現代語を比較する」という言語活動が設けられ、古語と現代語の意味の違いについて理解が深められるよう工夫されている。 ・単元冒頭に「出典解説」が設けられ、様々な古典作品の種類や特徴について理解が深められるよう工夫されている。 ・古文編の教材末に「言葉の手引き」が設けられ、古典に用いられている語句の意味や用法、文語のきまり、表現の技法などについての理解を深められるよう工夫されている。
【読むこと】	<ul style="list-style-type: none"> ・古文では説話、随筆、歌物語、作り物語、歴史物語、日記、軍記物語、和歌、俳諧、歌論などが、漢文では思想、史伝、古体詩、近体詩などが取り上げられ、文章の種類を踏まえて、構成や展開、内容を的確に捉えたり、解釈したりできるよう教材が設定されている。 ・「言語活動」が設定され、学習したことを基に調べ学習をしたり、表現活動をしたり、関連する他の作品と読み比べたりすることができるよう工夫されている。 ・教材末に「学習の手引き」が設けられ、教材の種類や内容に応じて読みを深められるよう工夫されている。
b 読書に関する指導	
	<ul style="list-style-type: none"> ・「古典のしるべ」の中で、教材に関連する書籍が紹介されている。
《その他の項目》（各教科共通）	
我が国の伝統や文化、国土や歴史に対する理解、他国の多様な文化の尊重に関する特徴や工夫	<ul style="list-style-type: none"> ・古典などを読むことを通して、我が国の文化の特質や、我が国の文化と中国など外国の文化との関係について理解を深められるよう教材が設定されている。 ・「日本の詩」という単元が設定されている。 ・「言語活動」として菅原道真と白居易の漢詩の比較、「酒虫」と芥川龍之介「酒虫」の読み比べ、などが設定されている。 ・巻末に古典の世界の人々の生活に関する理解を促す図版が掲載されている
人権課題（同和問題、北朝鮮による拉致問題等）に関する特徴や工夫	記載なし
安全・防災や自然災害の扱い	<ul style="list-style-type: none"> ・「方丈記」の「安元の大火」が掲載されている。
オリンピック・パラリンピックに関する特徴や工夫	記載なし
固定的な性別役割分担意識に関する記述等	<ul style="list-style-type: none"> ・言語活動「平安時代の結婚」で「このように、別居結婚であったことに加え、男性が複数の妾を持つことが半ば状態化しており、それが、女性にとっては悩みの原因となることもあった。」という記述が見られる。

(2) 構成上の工夫

デジタルコンテンツの扱い	<ul style="list-style-type: none"> ・教材に関する資料や動画に、二次元コードを読み込んでアクセスできるよう工夫されている。
ユニバーサルデザインの視点	<ul style="list-style-type: none"> ・ユニバーサルデザイン（カラーバリアフリーを含む。）に配慮されている。
自立した学習者の育成に資する工夫	<ul style="list-style-type: none"> ・巻頭に「教科書の構成と使い方」を掲載し、学び方を示すとともに、単元の冒頭に「学習のねらい」など学習者自身が身に付けるべき力や学習目標を理解できるよう工夫されている。

教科名	国語
科目名	古典探究

発行者（略称）	第一
教科書番号	古探183-904
教科書名	高等学校 改訂版 標準古典探究

(1) 内容

a 単元など内容や時間のまとまりを見通して、その中で育む資質・能力の育成（各教科共通）	
【言葉の特徴や使い方に関する事項】	<ul style="list-style-type: none"> ・漢文編で「故事・寓話」という単元が設けられ、故事成語について理解を深められるよう工夫されている。 ・「古語と現代語を比較する」という言語活動が設けられ、古語と現代語の意味の違いについて理解が深められるよう工夫されている。 ・単元冒頭に「出典解説」が設けられ、様々な古典作品の種類や特徴について理解が深められるよう工夫されている。 ・古文編に「言葉の手引き」が設けられ、古典に用いられている語句の意味や用法、文語のきまり、表現の技法などについての理解を深められるよう工夫されている。
【読むこと】	<ul style="list-style-type: none"> ・古文では説話、随筆、歌物語、作り物語、軍記物語、和歌、俳諧、歴史物語、日記、歌論、などが、漢文では思想、史伝、古体詩、近体詩などが取り上げられ、文章の種類を踏まえて、構成や展開、内容を的確に捉えたり、解釈したりできるように教材が設定されている。 ・「言語活動」が設定され、学習したことを基に調べ学習をしたり、表現活動をしたり、関連する他の作品と読み比べたりすることができるよう工夫されている。 ・教材末に「学習の手引き」が設けられ、教材の種類や内容に応じて読みを深められるよう工夫されている。
b 読書に関する指導	
	<ul style="list-style-type: none"> ・「読書のしるべ」が設けられ、教材に関連する書籍が紹介されている。
《その他の項目》（各教科共通）	
我が国の伝統や文化、国土や歴史に対する理解、他国の多様な文化の尊重に関する特徴や工夫	<ul style="list-style-type: none"> ・古典などを読むことを通して、我が国の文化の特質や、我が国の文化と中国など外国の文化との関係について理解を深められるよう教材が設定されている。 ・「日本の詩」という単元が設定されている。 ・「言語活動」として菅原道真「不出門」と白居易「香炉峰下」との比較などが設定されている。 ・巻末に古典の世界の人々の生活に関する理解を促す図版が掲載されている。
人権課題（同和問題、北朝鮮による拉致問題等）に関する特徴や工夫	記載なし
安全・防災や自然災害の扱い	<ul style="list-style-type: none"> ・「方丈記」の「安元の大火」が掲載されている。
オリンピック・パラリンピックに関する特徴や工夫	記載なし
固定的な性別役割分担意識に関する記述等	<ul style="list-style-type: none"> ・言語活動「平安時代の結婚」で「このように、別居結婚であったことに加え、男性が複数の女性と同時に婚姻関係を持つことが許される習慣のあったことが、妻にとってはとくかく悩みの生じる原因となった。」という記述が見られる。

(2) 構成上の工夫

デジタルコンテンツの扱い	<ul style="list-style-type: none"> ・教材に関する資料や動画に、二次元コードを読み込んでアクセスできるよう工夫されている。
ユニバーサルデザインの視点	<ul style="list-style-type: none"> ・ユニバーサルデザイン（カラーバリアフリーを含む。）に配慮されている。
自立した学習者の育成に資する工夫	<ul style="list-style-type: none"> ・巻頭に「教科書の構成と使い方」を掲載し、学び方を示すとともに、単元の冒頭に「学習のねらい」など学習者自身が身に付けるべき力や学習目標を理解できるよう工夫されている。

教科名	国語
科目名	古典探究

発行者（略称）	桐原
教科書番号	古探212-901◆
教科書名	探求 古典探究 古文編 改訂版
(1) 内容	
a 単元など内容や時間のまとまりを見通して、その中で育む資質・能力の育成（各教科共通）	
【言葉の特徴や使い方に関する事項】	<ul style="list-style-type: none"> ・巻頭に「古文ジャンル解説」が設けられ、様々な古典作品の種類や特徴について理解が深められるよう工夫されている。 ・5編の「コラム」が掲載されており、その中で仮名と真名、係り結びなどが取り上げられている。 ・教材末に「表現」や「文法」などが設けられ、古典に用いられている語句の意味や用法、文語のきまり、表現の技法などについての理解を深められるよう工夫されている。
【読むこと】	<ul style="list-style-type: none"> ・説話、随筆、作り物語、歌物語、日記、歴史物語、軍記物語、和歌、俳諧、歌論などが取り上げられ、文章の種類を踏まえて、構成や展開、内容を的確に捉えたり、解釈したりできるような教材が設定されている。 ・「比較で深める」として、「大和物語」と「俊頼髄脳」など比較できる単元が設定されている。 ・「古典世界の夜一月・星・闇」として、同一テーマで、種類の異なる複数の文章教材が配置される単元が設定されている。 ・教材末に、「活動」として言語活動が設定され、教材の種類や内容に応じて読みを深められるよう工夫されている。 ・「コラム」「古典世界ビュー」「古典世界ワイドビュー」が掲載され、古典の作品や文章を多面的・多角的な視点から読み深めることができるよう工夫されている。
b 読書に関する指導	
	記載なし
《その他の項目》（各教科共通）	
我が国の伝統や文化、国土や歴史に対する理解、他国の多様な文化の尊重に関する特徴や工夫	<ul style="list-style-type: none"> ・古典などを読むことを通して、我が国の文化の特質や、我が国の文化と中国など外国の文化との関係について理解を深められるよう教材が設定されている。 ・巻頭及び巻末に古典の世界の人々の生活に関する理解を促す図版が掲載されている。
人権課題（同和問題、北朝鮮による拉致問題等）に関する特徴や工夫	記載なし
安全・防災や自然災害の扱い	<ul style="list-style-type: none"> ・「方丈記」の「安元の大火・治承のつじ風」が掲載されている。 ・「古典世界ビュー」として「末世と災害」というテーマのコラムを掲載している。
オリンピック・パラリンピックに関する特徴や工夫	記載なし
固定的な性別役割分担意識に関する記述等	<ul style="list-style-type: none"> ・「古典世界ビュー」「平安朝の女性と漢文」で「平安時代、漢学は男性貴族の教養でしたが、女性貴族の中にも漢学の素養を持つ人がいたのです。とはいえ、男性中心の時代、それを表に出すのははばかれることだったでしょう。」という記述が見られる。 ・「古典世界ビュー」「垣間見」で「平安時代の貴族女性は顔を見られることを恥としていたため」という記述が見られる。 ・「古典世界ビュー」「待つ女」で「一途さや貞節が女の美質として共感的に描かれる一方」という記述が見られる。
(2) 構成上の工夫	
デジタルコンテンツの扱い	<ul style="list-style-type: none"> ・教材に関連する資料や地図に、二次元コードを読み込んでアクセスできるよう工夫されている。
ユニバーサルデザインの視点	記載なし
自立した学習者の育成に資する工夫	<ul style="list-style-type: none"> ・巻頭に「各教材の活動等一覧」、「読み比べ教材関係図」、「この教科書で学習するために」が示され、学習者自身が身に付けるべき力や学習目標、学び方を理解できるよう工夫されている。

教科名	国語
科目名	古典探究

発行者（略称）	桐原
教科書番号	古探212-902◆
教科書名	探求 古典探究 漢文編 改訂版

(1) 内容

a 単元など内容や時間のまとまりを見通して、その中で育む資質・能力の育成（各教科共通）	
【言葉の特徴や使い方に関する事項】	<ul style="list-style-type: none"> ・ 巻頭に「漢文ジャンル解説」が設けられ、様々な古典作品の種類や特徴について理解が深められるよう工夫されている。 ・ 「故事・寓話」という単元が設けられ、故事成語について理解を深められるよう工夫されている。 ・ 教材末に「表現」「句形」「構文」などが設けられ、古典に用いられている語句の意味や用法、訓読のきまり、表現の技法などについての理解を深められるよう工夫されている。
【読むこと】	<ul style="list-style-type: none"> ・ 思想、史伝、古体詩、近体詩などが取り上げられ、文章の種類を踏まえて、構成や展開、内容を的確に捉えたり、解釈したりできるよう教材が設定されている。 ・ 「比較で深める」として「史記」と「文章軌範」を比較できる単元が設定されている。 ・ 「政治と人間—国家・忠臣・賢帝」として、同一テーマで、種類の異なる複数の文章教材が配置される単元が設定されている。 ・ 教材末に、「活動」として言語活動が設定され、教材の種類や内容に応じて読みを深められるよう工夫されている。 ・ 「古典世界ビュー」というコラムが掲載され、古典の作品や文章を多面的・多角的な視点から読み深めることができるよう工夫されている。

b 読書に関する指導	
	記載なし

《その他の項目》（各教科共通）	
我が国の伝統や文化、国土や歴史に対する理解、他国の多様な文化の尊重に関する特徴や工夫	<ul style="list-style-type: none"> ・ 古典などを読むことを通して、我が国の文化の特質や、我が国の文化と中国など外国の文化との関係について理解を深められるよう教材が設定されている。 ・ 「日本の漢文」という単元が設定されている。 ・ 日本漢詩、「長恨歌」と紫式部に関するコラムが掲載されている。
人権課題（同和問題、北朝鮮による拉致問題等）に関する特徴や工夫	記載なし
安全・防災や自然災害の扱い	記載なし
オリンピック・パラリンピックに関する特徴や工夫	記載なし
固定的な性別役割分担意識に関する記述等	記載なし

(2) 構成上の工夫

デジタルコンテンツの扱い	・ 教材に関連する資料や地図に、二次元コードを読み込んでアクセスできるよう工夫されている。
ユニバーサルデザインの視点	記載なし
自立した学習者の育成に資する工夫	<ul style="list-style-type: none"> ・ 巻頭に「各教材の活動等一覧」、「読み比べ教材関係図」、「日本の文学と関連する活動」、「この教科書で学習するために」が示され、学習者自身が身に付けるべき力や学習目標、学び方を理解できるよう工夫されている。